

## 文部科学大臣賞

### 「日本人の若者の『やばい』 言葉遣い」

ラオスと日本の架け橋になりたいと思っています。空手や合気道のような格闘技に興味があり、日本で大学に進学し、卒業するまでに黒帯を取りたいと思っています。また、料理が好きで、新しいレシピを研究しています。

#### チャンビソンミッド パカム

Ms. Pakham Changvisommid

(ラオス・専門学校生)

日本に来たばかりの頃の私は、日本人と会話した時にわからなかったら「そうですか」または「そうですね」と返事し、これらの言葉にとってもお世話になっていました。けれども最近、特に若者からもっと便利な言葉を知りました。「やばい」です。今日の私の話しは「やばい」話です。

なぜこの言葉がとても便利かという、どんなときにも使えるからです。よく日本人の若者の会話を聞いていると、「やばい」という言葉は彼らの会話には不可欠な言葉のようですね。クラスの中でみんなどんな話をしているのかはあまりわかりませんが、よく最後に「やばい」を加えます。「え、まじか、それはやばい」などと言います。友達と話す中で「昨日遅くまでバイトしてた、やばい」と友達が言いました。「あ、やばいというのは『大変』の意味なんだ」とわかったその時、ちょっとびっくりしました。「みんな一日中そんなにたくさん大変なことがあるのか……」また次の日に女の子がおいしそうなお料理を食べながら「やばい」を使いました。「おいしいものを食べるのも大変なことなのか。それなら私に任せろ」と密かに思いました。でも嬉しい時、悪いことが起きた時、びっくりした時、みんな「やばい、やばい、やばい」と言っています。どんなときにもこの言葉は使えるらしいですね。でもこの言葉の意味はいったい何だろう。

年をとった人に聞いたら「やばい」の元の意味は悪い意味とのことですが、今ではいいことが起こった時、とても信じられないほど最悪の時、両方の場合に使われているようです。これは日本人のユニークな言葉の使い方ですね。私はみんながきれいな日本語を話したらいいと思います。だって嬉しい時には「嬉しい」と言いますが、大変なときに「嬉しい」とは言わないでしょう。「ほかの人が使っている言葉だから自分も使おう」ではなく、元々のその言葉の意味やどんな場合に使ったらよいのかを考えることも大切だと私は思います。

言葉も他のものと同じように時代によって変化したりします。新たな日本語の言葉や日本語の言葉遣いが出てくるのは仕方がないのですが、他にも最近ありえない言葉もはやっています。若者がうれしい時に「マックス嬉しい」と言っているらしいです。この言葉はどうやってこの世界に出られたのかわからないですが、表現力豊かな日本語があるのに、なぜ他の国の言葉とミックスして、日本語でも英語でもない言語を使うのでしょうか。「日本語も英語もとてもきれいな言語なのに、どうして言葉を無礼に貧しく使っているのか」と私は嫌になりました。

さらにその時、ある日のことを思い出しました。大きな看板に変な英語がきれいに書かれてありました。“It is strong in time, and it is gently to time tough at time.” この文を見たら皆さんはどう思いますか？日本人にとって英語で書けば何でもカッコイイと思うかもしれませんが、外国人にとって全く理解できません。それと同時になぜ若者が「やばい」言葉遣いをしているのかがわかったような気がします。

言葉から人の性格やその国の文化、特徴がわかるものと言われていますが、ある日本人の言葉遣い、あるいはあの看板のような英語を見たら、日本人はどういう風に見られるのだらうと私は心配になります。私は日本語の発音はとてもきれいだと思いますし、漢字を覚えるのは難しいですが、書けたらとても嬉しいです。日本語を勉強している間に日本語を間違ったりすることもたくさんありますが、意外な面白い言葉を見つけることもあります。「かわいい」と言いたかったのに、つい「怖い」といって随分違う意味になってしまって、みんなに笑われたこともあります。でもそれは語学の面白いところですよ。日本で留学したおかげでいろんな国の人と出会えて、日本語だけでなくスペイン語やアラビア語にも興味を持つようになりました。この経験から、日本人は自分の国の言葉を正しく使うことはもちろん、日本語にプライドを持って日本語の美しさを守るべきです。それとともに私は外国語に対する尊敬、外国語の勉強の面白さもみんなに知らせたいなあと考えています。